

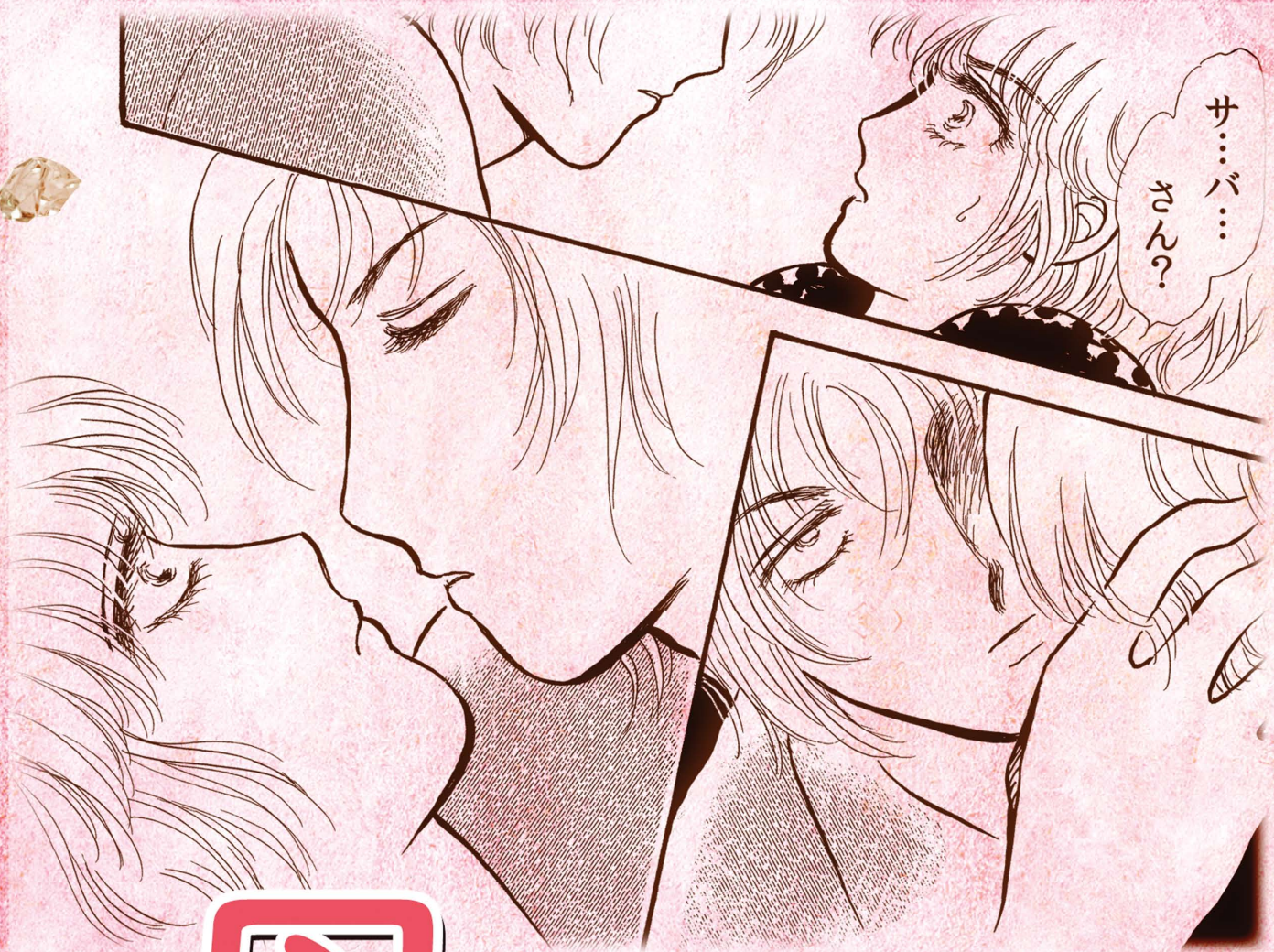
母なる男 2巻

茶木ひろみ

母なる男

ははなるおとこ

母なる男…なにそれ？
このお話のヒロインきやらさんにとっては…
自分の心の奥深くまで受け止めてくれる男性、
自分の話を深く聞いてくれる男性らしいの。
なんてまあゼイタクな望みでしょうねえ。
でもきやらはとうとう見つけたの。
きやら自身が忘れていた事まで、そのスゴイ知性で
推理してしまった探偵（さぐりしのぶ）を！
そりゃ追いかけるしかない！追うんだ、きやら！
…でも、この恋にはものすごい障害があったのさ。
最初から許されない恋だった。



母なる男

ははなるおとこ

茶木ひろみ

SAKI HIROMI

2巻



母なる男

第4回

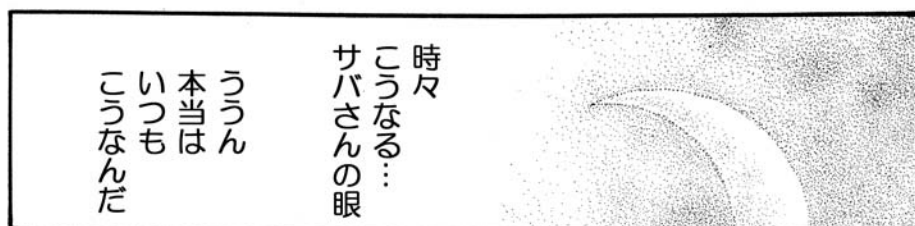
さき
茶木ひろみ





もう…来ちゃ
いけないよ

うちには





それに気づくと
きゅらは
かなしくて…

ちょっと
怖くて…

もう遅い

本田さん達に
送ってもらい
なさい

サバ…さん

ありが
とう…

…助けて
くれて…



眠れない…

眠れや
しない

あんなこと
言われた
けど

あきらめ
られるわけ
ない

ここまで
高まっちゃった
思いを消せる
わけない

とことん
やらなきゃ

終われる
わけない！



とにかく明日も
行くんだ
サバさんちに

行けば
なんとかなるよ
優しいもん
サバさん！

何を持って
行こう？

もうパンを
焼いてる時間ない

じゃ
フルーツとか…

イチゴ…は
もう遅い？

いや確か
露地イチゴの
時期だった



え…と





ろ…じ
R…O…J…
あっと
G打っちゃった



ログス…
ログスって
どこかで
聞いたこと
あるような



あそうだ
聖書の
ことは
だった
最初に
ログスあり
—
だったかな
？

ログス

理論・理性
(哲学で)万物を
統一する法則。
また、それを認識
する理性。



わ：ログスって
すごい意味
なんだね

サバさんの
イメージを
感じるわ

何を見ても
サバさんに
見える

サバさんに
つながっていく

サバさんの
ことばかり
考えてる





でも…

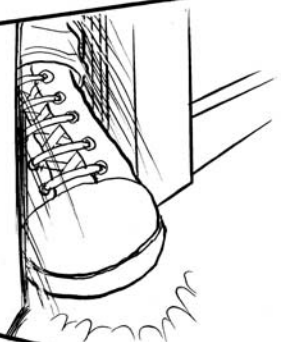
でも私は本当に
サバさんのことを
考えてきたん
だろうか？

本当は
自分のこと
ばかり考えて
きたんじゃ
ないだろうか？



サバさんの
気持ちには
無視して

自分の思いを
サバさんに
押しつけること
ばかりやって
きたんじゃ…



理性…

私にないのは
そうよ

理性なのよ

サバさんは
理性の人だ

サバさんに
ふさわしい人間に
なりたい…

明日は
とにかく
あきらめ
よう…

サバさんの
家に行く
のは

断腸の
思いで！

おじい様
今夜はお力を
お貸しください
まして本当に
ありがとうございました

おまえの
友人は無事
だったかな？

はい
香るカフェの
店長が守って
くれていました

大した方です
そして料理の
腕は一流です
どうか
おじい様も
一度！

偲おも

おまえの
言いたい
ことは

この前
言っておった
店長の借金の
ことだな？

借金を
棒引きにして
あの店を
続けさせて
やってくれと

かわいい孫の
おまえの頼みだ
あんな小さな店
手に入ろうが
入らなかるうが
どうでもいいが

仕事は
仕事だ

組織の者たちへの
シメシはつけねば
ならん

それには

おまえの友人を
助けたという程度
ではやや甘い

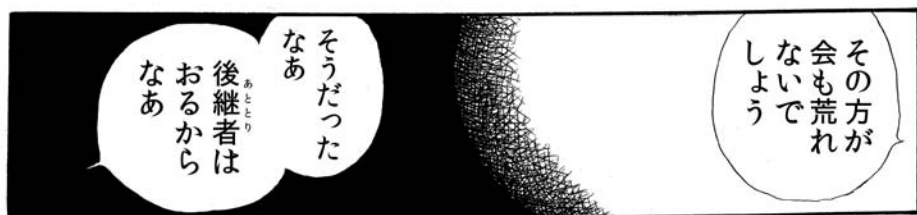
だが



おまえの
妻になる女と
いうことなら
別だが

おじい様

私は結婚は
しません



その方が
会も荒れ
ないで
しよう

そうだった
なあ

あととり
後継者は
おるから
なあ



おまえには
すまないことに
なってしまったな
優秀な編集記者
だったのに

暴力団会長の
わしとの血縁関係が
ネットにああも
はつきりとさらされて
しまつてはの

おまえは全く
悪くないと
いうのに

わしはその事は
生涯公表する
気はなかったんだが

とにかく偲
おまえに渡した
銀行口座から
好きなだけ使うといい
一生困らんだけの
事はさせてもらう

いえ…それは
お気持ち
だけで—

あの家を
格安で貸して
いただけてるだけで
本当に充分です
ありがとうございます

あの寝かしてある
土地に残ってる
古家のことか

うちが持つてる
高級マンションが
空いておるのに
もの好きだのう

こういう
時は

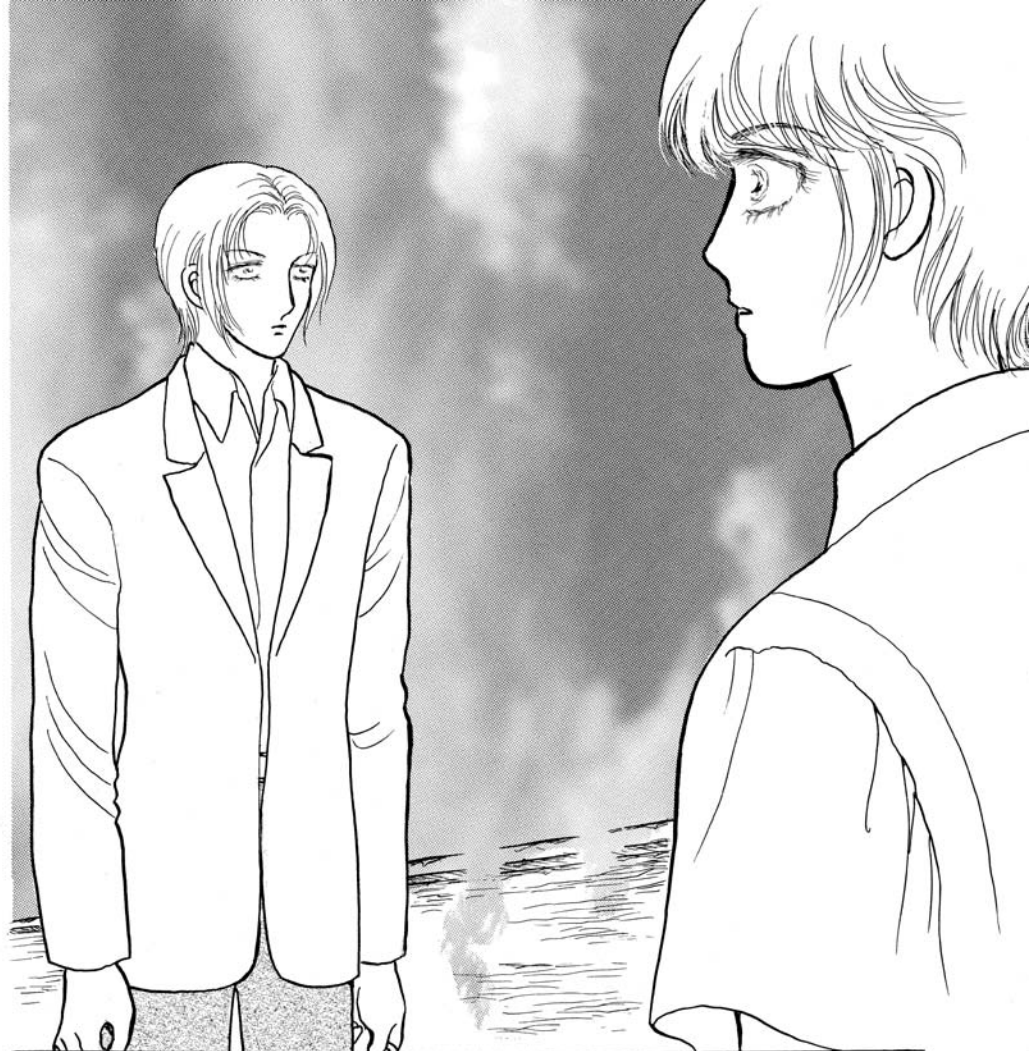
お店から
入っちゃ
いけない
気がする

裏口に
回ろう

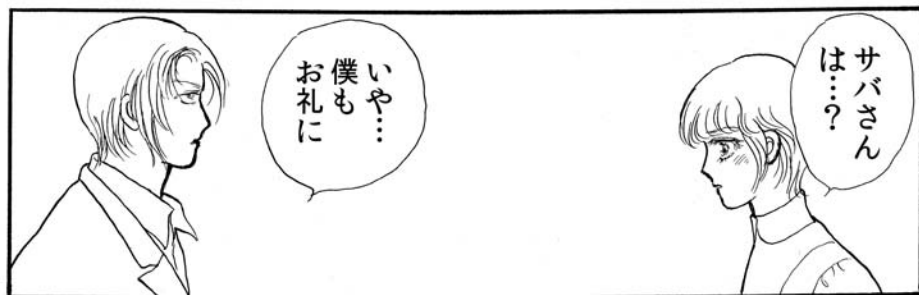
あ…
裏口に
誰か来る

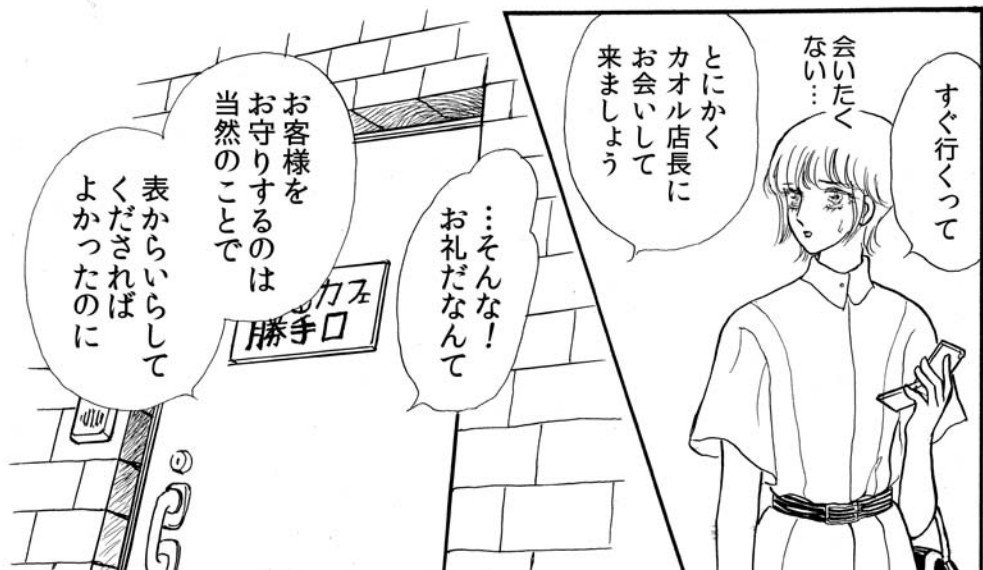
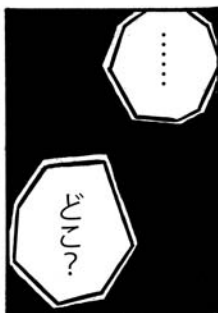
鯛に変身
した時の
サバさん
みたいな人
だなあ…

やだでも
なんでも
かんでも
サバさんに
見える















やーやー

わたくしも
誘ってくれば
よかったのに
二人だけで
なんですか？

あつ済んだの？
じゃあちようど
よかった

いや
そういう
わけじゃ

それにもう
用は済み
ました

帰りましょう

帰るって…
どこへ
ですか？

サバさんの
家に決まって
いるじゃ
ないですか

今日はわたくしの
料理を食べて
いただこうと
材料を用意
して来ました

私はこれで
失礼します



じゃ…



浜本くん
おい？

帰っちゃう
の？



やだ
なんだか

一生の別れの
ような気が…



でも
本当にこれで
一生のお別れなの
かもしれないね

こんなふうに
偶然会える
ことなんて
もうないだろうし…

何も
ないんだ

サバさんと
つながれる
ものが…

私の厚かましさを
だけで今まで
つながってたん
だもの

本当は
すごく勇気
いったんだけどさ

もう…
だめ

もう何も
できない

サバさん
との
糸が…

切れ…る

きやら
さん!!

もちろん
嫌なら
断わって
くれれば
いい

僕の…

まさか
プロ…ボ…

なんです
この展開…?

このムードは
まさか

きみさえ
よければ

僕の

頼みが
あるんだけど

あー…